

アイリスLetter



2015年2月27日発行
第10号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

2014年度もいよいよ最後の月を迎えました。学校においても新年度を迎える準備が進められ、中学生徒会では5人委員会を始めとする生徒会役員選挙が行われ新しい顔ぶれが決まりました。また、新中学1年生のオリエンテーションも2回を終えました。一方で年度をしめくくる期末テストを控えて生徒達も準備に励んでいることと思います。

さて2月21日に本校のSGH研究発表会が各地から教員や教育関係者をお招きして行われ、英語・国語・社会の研究授業、高校生による沖縄修学旅行における尚学高校との平和教育交流事業のプレゼンテーションなどが行われました。この発表会のプログラムの一つとして、国連紛争調停官や日本政府の交渉官として国際舞台で活躍してこられた島田久仁彦氏により、「グローバル人材とは？夢を叶えるために、将来像を定めて今何をすべきか。」と題して講演会があり、中3から高2までの生徒が聞きました。興味深い多くのお話の中で、グローバルな人間とは、単に海外へ出ることや英語が話せることでなく、自分が置かれた場所、自分がやっぴいこうと決めた所で生き活きと輝いて生きて行ける人、その為に多くのコンテンツ(中身・引き出し)を自分の中に持っている人の事だと語られ、遠い将来を「妄想」しつつ近い未来を「想像」してライフプランを立てることを伝えてくださいました。今、高校を卒業し新たな歩みへ向かおうとしている卒業生の皆さんが、まさにその新しい場で輝いて歩んでくれる事をお祈りしています。

さて今年度も12月に保護者アンケートを行いその結果が出ましたので別紙資料でお伝え致します。(生徒アンケート・保護者アンケート集計)25項目の教科教育・教科外教育・施設・教員対応等に関する質問と、最後に「親戚、友人・知人に本校の入学を勧めますか？」という質問でした。詳しくは別紙をご覧ください。保護者の学年間比較では中1が最も高く、一般的な例にみられる様に一旦下がり、高校の3年間で上昇していく形を示しており、最終学年がしっかり上げている形は良い傾向であるとコンサルタントは述べています。満足度でマイナスを示した項目はありませんでしたが、低い数値の部分については来年度への課題としてしっかりと向上できるよう取り組みたいと思います。ご協力ありがとうございました。

さて、高3の保護者の皆様にはこれが最終号となります。色々ご心配をおかけした事もございましたが、6年間に渡り様々な形で本校教育にご理解とご協力を頂きました事に心より感謝いたします。進路が決まった方、また次の進路に向けて努力を続けておられるお嬢様方の上に神様の祝福が共にありますよう教職員共々心からお祈りいたします。

「私はあなた達のために立てた計画をよく心に留めている。と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ書 29章 11節

(校長)

中学入試について

1月21日(水)は中学入学試験でした。

今年から面接試験を実施することになり、これまでとは時間設定など大きく変わりました。そこで大活躍だったのが、入試補助生徒たちでした。補助生徒が、受験生を控え室から面接会場へ、そして面接を終えて校舎を出るところまでと、時間通りにきちんと誘導してくれました。おかげで教師は、面接試験と採点に安心して専念することができました。

昨年までお昼すぎには終了していた入試は、今年からは午後4時までかかることになりました。朝早くからの、補助生徒の皆さんの真剣な仕事ぶりに、心から感謝します。来年度以降も、高校生から入試補助を募集します。ご協力をお願いします。

2月14日(土)には新入生オリエンテーションも終わり、新入生は中学生になる心の準備を始めている頃でしょうか。そろそろ春休みの宿題も届くことでしょう。私たちも彼女の入学を楽しみに待ちましょう。

(中学教頭)

フェリス女学院碑巡り案内

今年で31回目を迎えるフェリス女学院碑めぐり案内・交流会が2月12日(木)に行われました。今年進路が決まった高3が2名と、高2が32名、高1が41名の総勢75名が参加しました。当日はあいにく本番直前に激しい雨が降るという状況下での案内となりましたが、1つ1つの碑について、それぞれが一生懸命準備したことを伝えました。その後の交流会では、最初に本校の署名実行委員会によりプレゼンテーションが行われました。本校の平和活動を紹介するとともに、最近の核廃絶に向けた世界の動向をふまえて、自分たちは何ができるか、何をすべきなのかという内容でした。その後、両校の生徒代表による平和スピーチが行われ、最後にグ

ループ毎に懇談の時間をもちました。フェリス女学院の生徒にとって忘れられない体験になったことと思います。また同時に、今回の碑めぐり案内を通じて、本校の生徒たちも大きく成長してくれたと思います。

短い準備期間ではありましたが、今回のように1学年全体180人余りを案内することができたのは、多くの生徒が自主的に参加してくれたのはもちろん、ベテランの上級生が下級生をリードし、下級生がそれに一生懸命応えるといういい関係が築けているからだと思います。来年度もたくさんの県外の高校生や中学生を案内する機会がありますが、1年生のみなさんは自分たちが下級生を引っ張っていくのだという自覚を持って、来年度も積極的な参加をお待ちしています。

グループ懇談の様子



碑めぐり案内の様子



(G E C)

中学英語オラトリカルコンテスト

2月10日(火)、第39回英語オラトリカルコンテストがゲーンズホールにて行われました。中1・2生は暗唱、中3生とインターナショナル部門の生徒はスピーチを発表しました。ひとりひとりが練習を積み重ねてきた成果と個性を十分に発揮しました。司会の中3生15名が担当し、円滑にコンテストを進めてくれました。当日は参観日でもあり、多数の保護者の方がご来場下さり、ホールは大盛況でした。ありがとうございました。

受賞者は以下の通りです。

中1	1位	N・A	(1-5)
	2位	R・S	(1-2)
	3位	I・A	(1-1)
	敢闘賞	K・R	(1-4)
中2	1位	A・S	(2-4)
	2位	S・F	(2-2)
	3位	O・N	(2-3)
	敢闘賞	H・R	(2-1)
中3	1位	S・R	(3-5)
	2位	H・M	(3-3)
	3位	Y・N	(3-1)
	敢闘賞	M・H	(3-5)
インターナショナル部門			
	1位	H・S	(1-5)
	敢闘賞	U・H	(2-3)

(英語科)

2015年度中学生徒会役員選挙結果

2月7日に行われた投票の結果、来年度の生徒会役員は以下のとおりになりました。

評議会議長	2-3	K・T
五人委員	2-1	F・H
	2-2	T・R
	2-4	M・M
	1-1	K・C
	1-2	M・D
会計	2-1	K・S
	1-4	T・K

会計監査 2-2 M・N

1-2 Y・A

どの立候補者も推薦者と協力して準備ができたと思います。立会演説会では、積極的に来年度の生徒会活動に対するやる気をアピールし、女学院中学校を背負って立つ姿勢が強く感じられました。当選した生徒には、女学院中学校生徒会の伝統を守りつつも、さらに発展し続ける生徒会であるよう、持てる力を十分に発揮していつてくれることを期待します。また残念ながら当選できなかった生徒にとっても、この選挙活動は有意義な経験であったことと思います。各クラスの選挙委員も、立候補者の選出やクラスへの伝達、選挙・開票など、がんばって活動しました。

(中学選挙管理委員会顧問)

じょがく in Love

2月14日に、今年も「じょがく in LOVE」が開催されました。天気に恵まれ、たくさんの5年生以下の小学生が参加してくれました。

前半のホールプログラムでは、吹奏楽部によるミニコンサート、今田先生とオサラバン先生による「Yo!かいWA体操」、先日行われた入試の解説、DVD「女学院のいいところ」上映、星野校長によるパイプオルガンの演奏が行われました。

その後各教室に移動し、終礼を行いました。讚美歌は初めて歌う人も多かったようで、みんな一生懸命歌っていました。最後には担当の先生から熱いメッセージが贈られ、お土産が配られました。お土産は、毎年恒例の女学院オリジナルチョコレートです。みんな大変喜んでくれ、しっかり握りすぎて、靴をはくのに手間取っているお子さんもいました。



女学院の魅力を体感してもらうよいイベントとなりました。

(広報部)

保健室だより (10)

～セルフケアを大切に～

立春は過ぎましたが、1年中で最も寒い季節です。寒いですが、みんながんばっています。

先日、学校薬剤師さんに、教室の空気検査をしていただきました。短い時間でも窓を開けるなどの小さな工夫で、空気もきれいになります。また、着ているものの調整などにより、冷えも防げます。

できるだけ自分で意識的に体を動かしたり、栄養を適切にとったり、衣服の調整を試みてはいかがでしょうか。

無理して頑張りすぎて、くたくたの状態
で、保健室を利用する
人を時々みかけます。
自己管理することは、
とても大切だと日々
感じています。



(保健室)

心の健康 (10)

いよいよ学年末の3月です。3月は状況が変わります。前半が期末テスト、後半が春休みです。また今の学年が終わって新しい学年に進み、季節は冬から春へと移ります。

このように3月は、1年を通してみると「変わり目」の時です。「変わり目」はストレスがかかり心が揺れるので、切り替えの行動が重要になってきます。

先日、あるお母さんから「学校のテストが終わった日は、子どもの大好きなハンバーガーを家族で食べるんですよ」というお話を伺いました。定例になっている楽しみだそうです。変わり目を上手に過ごす行事だと思いました。

節目を意識した生活は心の健康にとっても大切なことです。各家庭でひと工夫してみましょう。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学美術授業

*平成26年度読書感想画コンクール

広島県コンクール

学校賞受賞

最優秀賞 3-2 M・Y

3-3 A・C

優秀賞 3-2 O・S

3-4 T・C

3-5 T・K



(3-2 Mさん)



(3-2 Oさん)



(3-3 Aさん)



(3-4 Tさん)



(3-5 Tさん)

◇中学放送部

*第4回広島女学院大学朗読フェスティバル

優 秀 賞	2-1	N・M
	2-4	N・Y
審査員特別賞	2-1	N・A
	2-1	S・M
	2-2	M・Y
	2-3	F・Y



《個人の活躍》

*第21回中国地区書き初め大会

特選	1-1	O・A
	1-5	Y・K
	3-4	K・A

*ヤマハヤングピアニストコンサート推薦演奏会

銀賞	1-B	S・M
----	-----	-----

※「生徒の活躍」について

この欄は、部活動・同好会の大会・試合結果等を掲載しています。個人については主催団体より学校に直接報告があったものを中心に、個人の報告によるものを載せています。報告は担任を通じて書面でお寄せ下さい。内容検討の上、掲載いたします。



今月の聖句

わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。

ヨハネの手紙一 4章10～11節

キリスト教の暦では、イエスの復活を祝うイースターの6週間前の水曜日から「レント(=受難節)」に入ります(今年は2月18日～4月4日)。イースターへの準備として、イエス・キリストの十字架の犠牲に思いを馳せ、自らの罪を悔い改める時です。

残虐な処刑道具であるはずの「十字架」がキリスト教のシンボルとなっているのは、それが罪人である私たちのために命を捧げて下さったイエス様の愛、独り子をも惜しみなく私たちのためにお与え下さった神様の愛のシンボルだからなのです。

愛されていることを本当に実感した者だけが、「罪=自己中心」を超えて、「互いに愛し合う」生き方へと歩み出せると聖書は語っています。

(聖書科T. M)

3月行事予定

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	期末テスト(高1・2) 1限8:55～
7	土	(中1・2・3) 1限8:55～ 15分休憩
8	日	公立大学中期日程入試開始
9	月	1限8:55～ 15分休憩
10	火	1限8:55～ 15分休憩 教科書販売(高1・2)
11	水	自宅学習日 中3・高1ステイサポート 教科書販売(中3)
12	木	テスト返却 30分授業8:55～ 国公立大学後期日程入試開始
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	特別時間割 40分授業8:55～ 期末テスト素点確認 中3副教科販売
17	火	
18	水	中3・高1ダンス発表 中1・2個人写真
19	木	
20	金	終業の日 (中) 卒業礼拝
21	土	春分の日
22	日	マウントユニオン大学短期研修(～4/3)
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	カンボジア研修旅行(高1)(～4/1)
28	土	
29	日	韓国現地研修
30	月	
31	火	

